
「年次成果レポート／年次実行プラン(仮称)」の検討

- 1) 「年次成果レポート／年次実行プラン(仮称)」の考え方
- 2) 「年次成果レポート／年次実行プラン(仮称)」構成案

1) 「年次成果レポート / 年次実行プラン(仮称)」の考え方

【方針】本省、地方整備局等(本局)、港湾事務所は、1年(年度)をサイクルとして港湾行政マネジメントを実施し、その結果を分かりやすくとりまとめ、毎年、「年次成果レポート / 年次実行プラン(仮称)」として、国民や港湾ユーザーへ公表する。

【公表のポイント】

- (1) 結果により明らかになった課題を解決するための対策を説明
- (2) 国民やユーザーの関心の高いテーマを中心に公表
- (3) 国民やユーザーにとって重要であると考えられる内容を公表
- (4) 結果だけで判断されないよう様々な角度から分析を行い、外的要因やデータ限界など原因説明的な情報を付加して公表
- (5) 国民やユーザーが読みやすく理解しやすいように表現方法を工夫
- (6) 全国のベストプラクティス事例などを紹介し情報を共有

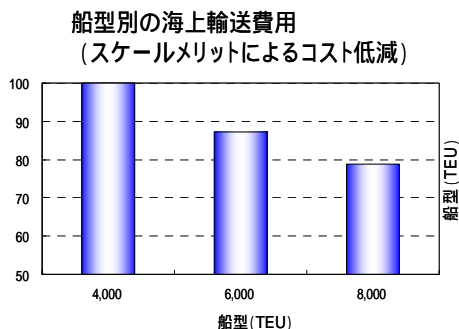
読みやすく理解しやすくする工夫(1)
 グラフや写真、地図などのビジュアルな補助具を利用



(景観施策導入後)

(景観施策導入前)

読みやすく理解しやすくする工夫(2)
 より分かりやすく表現するための工夫

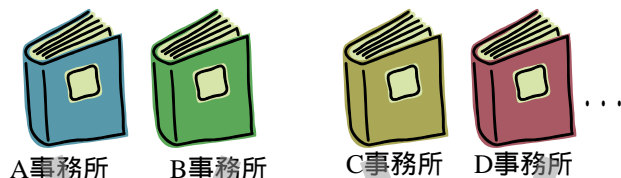


航行日数が10日の場合で、4000TEU級船の費用を100とした。
 資料：港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル(平成16年6月)

事務所

「年次成果レポート / 年次実行プラン(仮称)」の作成と公表手順

【Step1】事務所毎に「年次成果レポート / 年次実行プラン(仮称)」を作成し公表。



整備局等(本局)

整備局等は、「地域ブロックの統括的な役割」として...



【Step2】「事務所版」のエッセンスを取り入れ、「整備局等版」を作成し公表。

本省



【Step3】「事務所版」、「整備局等版」のエッセンスを取り入れ「本省版」を作成し公表。 1

(参考) 全体スケジュール(イメージ)

平成17年度
(2005年度)

平成18年度
(2006年度)

平成19年度～
(2007年度～)

第1四半期 第2四半期 第3四半期 第4四半期 | 第1四半期 第2四半期 第3四半期 第4四半期 | 第1四半期 第2四半期 第3四半期 第4四半期

試行
セミナー

フォロー
セミナー

本格導入
セミナー

公表

公表

中長期的なプランを公表

試行の結果

試行事務所; 「年次成果レポート2005
(試行版) / 年次実行プラン 2006(仮称)」
その他の事務所、本局; 「年次実行
プラン2006(仮称)」

「年次成果レポート2006 /
年次実行プラン 2007(仮称)」

指標設定、目標
値の設定等

指標設定、目標
値の設定等

指標設定、目標
値の設定等

現場のマネジメント改革
日々の指標のフォロー

現場のマネジメント改革
日々の指標のフォロー

現場のマネジメント改革
日々の指標のフォロー

評価、改善
方策の検討

評価、改善方策の検討

評価、改善方策の検討

試行期間

本格導入

2) 「年次成果レポート / 年次実行プラン (仮称)」 構成案

|  事務所 『年次成果レポート / 年次実行プラン (仮称)』 構成案 |  本省港湾局 <small>整備局等本局は、本省港湾局と同じイメージ</small> 『年次成果レポート / 年次実行プラン (仮称)』 構成案 |
|---|---|
| <p>I 事務所と管内港湾の紹介</p> <p>(1) 事務所の概要 事務所の概要 (組織、所管港湾マップなど) について記載。</p> <p>(2) 管内港湾の概要 管内港湾の概要 (主要な取扱貨物や背後企業の動向など) について記載。</p> <p>(3) 事業・取り組み状況の概要 実施中の直轄事業の概要 (事業名、事業費、工期など) について記載。また、「みなとの見学会」や「海辺の自然学校」などの広報業務の取り組み状況や、港湾の利用や運営等についての検討組織 (協議会等) の活動内容について記載。また、職員の能力向上への取り組み状況についても説明。</p> | |
| <p>II 事務所の港湾行政マネジメントについて</p> <p>(1) なぜ今、事務所に港湾行政マネジメントが必要なのか 事務所の現状や課題から、なぜ港湾行政マネジメントが必要なのか説明。</p> <p>(2) 事務所における港湾行政マネジメントの枠組み 事務所の特性に基づき、どのような枠組み (基本コンセプト、年次サイクル、戦略プランなど) で港湾行政マネジメントに取り組むのかを記載。</p> <p>(3) 事務所の港湾行政マネジメントの進め方 事務所が主体的かつ独自性を持ってどのように港湾行政マネジメントを進めていき、事務所の使命や目標を実現するつもりなのかについて記載。また、事務所のマネジメントからはじめて、港湾管理者やポートコミュニティまで含めたマネジメントへどのように発展させるのか (体制や役割分担、スケジュールなど) について考え方を説明。</p> | <p>I 港湾行政マネジメントについて</p> <p>(1) なぜ今、港湾行政マネジメントが必要なのか なぜ今、港湾行政マネジメントが必要なのか説明。</p> <p>(2) どのような港湾行政の姿を目指しているのか 港湾行政マネジメントを導入することにより、どのような港湾行政を目指しているのか、港湾行政マネジメントによって変わる行政の姿について説明。</p> <p>(3) 港湾行政マネジメントの枠組み 港湾行政マネジメントの4つの基本コンセプトや多重ループのマネジメントサイクル、新たな概念であるポートコミュニティ (港湾・地域共同体) で取り組むマネジメントなどの枠組みを説明。</p> |
| <p>III 政策テーマごとのハイライト</p> <p>章の中から主要部分のみエッセンスとして記載。</p> <p>(1) 事務所の使命及び目標 事務所が「何のために存在しているのか」、「何をもちて社会に貢献するのか」など事務所の使命や目標を体系的に整理し記載。</p> <p>(2) 政策テーマごとのハイライト 今年度、マネジメントを実施した結果がどうだったか、その結果からどんな課題が把握できたのか、その課題に対して次年度のマネジメントで何を戦略的に実施するつもりなのかについて、政策テーマごとに地域住民やユーザーにとって最も関心があるテーマ、重要であるテーマ、地域住民等へ訴えたいテーマ等を取り上げて分かりやすく総括。</p> <p style="text-align: center;">↑ 章のエッセンスを 章へ</p> | <p>II 政策テーマごとのハイライト</p> <p>章の中から主要部分のみエッセンスとして記載。</p> <p>(1) 港湾行政の使命及び目標等 港湾行政の使命や目標を体系的に整理し記載。</p> <p>(2) 政策テーマごとのハイライト 今年度、マネジメントを実施した結果がどうだったか、その結果からどんな課題が把握できたのか、その課題に対して次年度のマネジメントで何を戦略的に実施するつもりなのかについて、政策テーマごとに国民やユーザーにとって最も関心があるテーマ、重要であるテーマ、国民等へ訴えたいテーマ等を取り上げて分かりやすく総括。</p> <p style="text-align: center;">↑ 章のエッセンスを 章へ</p> |
| <p>IV 成果レポートと実行プラン</p> <p>今年度の成果の報告と、次年度に実施する実行プランを説明。</p> <p>(1) 指標の概要 政策テーマに対する指標の位置付けや因果関係等について、アウトカムのフロー図などを用いて分かりやすく記載。ここでは、事務所や管内港湾の現状から課題を把握し方策を検討したプロセスも説明。</p> <p>(2) 成果の報告 (成果レポート) 今年度の指標ごとの達成状況や動向、実施した施策や日々の業務改善の概要やその効果などについて報告。自然災害など、結果に影響を及ぼした外部要因についても説明。</p> <p>(3) 実施する主な施策、日々の業務改善等の概要 (実行プラン) 今年度の成果に基づき、次年度に実施する主な施策、日々の業務改善等の概要について説明。</p> <p>(4) バックデータ 結果や達成状況のバックデータを管内港湾やターミナルごとに記載。</p> | <p>III 成果レポートと実行プラン</p> <p>今年度の成果の報告と、次年度に実施する実行プランを説明。</p> <p>(1) 指標の概要 政策テーマに対する指標の位置付けや因果関係等について、アウトカムのフロー図などを用いて分かりやすく記載。</p> <p>(2) 成果の報告 (成果レポート) 今年度の指標ごとの達成状況や動向、実施した施策の概要やその効果などについて報告。自然災害など、結果に影響を及ぼした外部要因についても説明。</p> <p>(3) 実施する主な施策の概要 (実行プラン) 今年度の成果に基づき、次年度に実施する主な施策の概要について説明。</p> <p>(4) バックデータ 当該指標の結果や達成状況といったバックデータ記載。</p> |
| | <p>IV 事務所の事例紹介</p> <p>事務所全体のレベルアップのためベストプラクティスなどを紹介し情報を共有。</p> |